

## 〈第24回〉 田迎西1町内子ども会(3) 「おみしり会」

育成会会長 卜部 菜美子・佐藤 有紀、書記 友田 晴美

令和3年6月6日(日)、田迎公民館にて、田迎西1町内子ども会のおみしり会を開きました。

昨年は、準備、司会、進行等、子ども達に全てやってもらいましたが、今年は、熊本県にまん延防止等重点措置が適用されている中での開催となり、感染対策を最優先に考え、役員で仕切り、1時間に短縮して行いました。

### 【感染症対策】

- ①赤、青、黄グループ、椅子を並べて3つのサークルを作り、距離をとった椅子に座ってもらうことで、キープディスタンスになるように工夫しました。
- ②大声を出さなくてもいいように、自治会の方をお願いして、マイクを準備して頂きました。
- ③入口、窓は全開にし、手指消毒液とクレベリンの設置を行いました。
- ④参加者に予め配布しておいたウィルスカット99%以上の不織布マスク着用をお願いしました。

子ども達は、1人ずつ入場して、受付で手指の消毒をし、名札をつけ、名札に付いている色のグループのサークルの椅子へ移動。

10時にスタートし、最初に、司会の佐藤会長から、諸注意がありました。

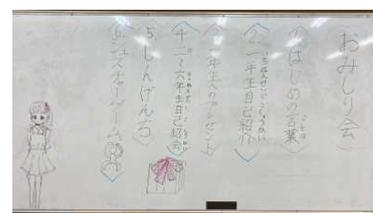
「隣の子と離れているよね。どうしてかな？」との問いかけに、「コロナだから～！」という子ども達の声がありました。椅子から動かないこと、大声を出さないこと等を約束しました。



3つのサークルで キープディスタンス

それから、プログラムの流れで会を進め、11時に終了。密を避けるため、1グループずつ解散し、おみやげをもらって帰りました。

雨天中止を避けるため屋内での活動にしたので、時間も短く、騒げず、物足りなかったかと思いますが、1町内のお友達の顔と名前を覚える機会を作ることができたので良かったです。



プログラム

役員はじめ保護者の皆様のご協力は大変有り難うございました。

楽しんでいる様子の子もいれば、表情が固い子もいたので、今後は、外でワイワイ遊んだり、皆が打ち解けられたりするような活動を取り入れていきたいです。今後ともご協力よろしくお願ひします。

### 【プログラム】

- ・はじめのことば (6年生ゆうご君。堂々として素晴らしいスピーチでした!) ⇒
- ・1年生の自己紹介 (質問形式)
- ・1年生へのプレゼント (5、6年生からのお手紙入り)

～グループごとに～

- ・自己紹介
- ・震源地ゲーム
- ・ジェスチャーゲーム



はじめのことば



1年生自己紹介



お手紙入り プレゼント



サークルごとに 自己紹介

### ☆震源地ゲーム

鬼を決め、鬼はサークルの真ん中で目を閉じておく。

震源地役のリーダーを1人、鬼に聞こえないよう、相談して決める。

他の子達は、リーダーの動きをまねする。

リーダーは鬼にばれないように、色々なポーズをしたりジャンプしたりして動きを変えていく。

鬼がリーダーを当てることができたら、今度は、リーダーが鬼になる。

※「震源地」ゲームは「平成28年熊本地震」以降は市子協ジュニア・リーダーは「発信源」と称しています。



だれかな～??? 僕じゃないよ

☆ジェスチャーゲーム

1人ずつカードを引いて、書いてあるお題をジェスチャーで伝える。

分かった子は手を挙げて答える。

「動物」「スポーツ」「日常生活」3テーマ、1人3回ジェスチャー。

※ジェスチャーカードは、佐藤会長の手作り（呪術廻戦の消しゴムはんこ）

すごい！



テーマ 《動物》



テーマ 《スポーツ》



テーマ 《日常生活》



まず カードを引いて



このジェスチャー何でしょう？



「ハイ 分かりました」



犬かな猫かな、ライオンかな



サッカーのキック？



みんな見事な  
ポーズ

野球 = カッコイイ



楽しい一時でした



もう手が上がっています。 **カエル? かな**

事務局長 白石和典

【事務局から】

- 1 原稿と沢山の写真ありがとうございました。活動がよく分かりました。まん延防止等重点措置の中、感染予防対策はいろいろと工夫が凝らされていました。特に受付で消毒した後は、指定のグループの距離を取って並べてある椅子に直行し、そこから動かない、大声を出さないなど計画性が素晴らしいです。子どもたちもコロナ禍を十分理解し、対策の行動が身についているようですね。
- 2 6年生のはじめの言葉のスピーチが大変素晴らしかったとのことですが、今までの身近な異年齢集団の中での活動経験が最上級生としての自信と責任となって現れたのでしょうか。これからも子ども会活動を通して様々な体験をし、視野を広げて、大きく成長してください。
- 3 ジェスチャーゲームはみんなが注視している中で自分をさらけ出して「表現」をするので、苦手な子がいるかも知れません。しかし、身近な温かい集団ですので溶け込むのも早いと思います。
- 4 役員の皆様をはじめいろいろな方の協力が実を結んだ活動だったと思います。そしていろんなアイデアが光りました。子どもの一人がグループのお世話の人に感謝の言葉を述べたそうです。それ程この活動が子どもたちにとって嬉しかったということです。そして、この子も素晴らしいです。